

## 2-3 山形市の交通の課題

### (1) 人が移動する視点で

- **生活を支える交通手段の充実**
  - ・高齢者や年少者などの自動車を運転できない人と、自動車を運転できる人との移動性に格差があること、同じ市内であっても交通サービスの地域格差があることなどから、誰もが等しく交通サービスを享受し、生活を支える交通手段の充実を図る必要があります。
- **交通の円滑化の確保**
  - ・交通の円滑化を確保するために、道路整備を推進していく必要があります。
  - ・長距離トラックなどの市街地を通過する交通を市街地に流入させないように、通過交通を削減する道路整備を推進していく必要があります。
  - ・鉄道駅やバス停、さらにそこへ至るまでのアクセスなど、公共交通機関を利用しやすい工夫を進めることが必要です。
- **安全性の確保**
  - ・歩道や車道上での人・自転車・自動車の混在を削減するとともに、段差解消などのバリアフリー化を進め、快適性・安全性を確保した交通基盤の整備を図ることが必要です。

### (2) まちの活力と土地利用の視点で

- **土地利用と連携した交通網の形成**
  - ・多くの人が集まる中心市街地では、その活力を支える交通網の充実が必要です。
  - ・山形ニュータウンなどの新たな市街地整備が行われており、これらの地域と都心などの主要拠点を結び、まちの活力を支える交通網の形成が必要です。

### (3) 環境負荷軽減の視点で

- **地球環境問題に対応した交通体系**
  - ・必要最小限の自動車利用や低公害車への転換等により、自動車排気ガスとエネルギー消費を抑え、地球環境問題に対応した交通体系の整備が必要です。
  - ・公共交通が利用しやすい交通基盤整備や自転車・徒歩で効率的に移動できるようにすることが必要です。